

1. 主な研究内容について

- ・自閉スペクトラム症に対する認知リハビリテーションによる脳内ネットワーク変化の解析（科研費・研究代表者）
- ・統合失調症に対する社会認知トレーニング（SCIT）の作用機序の脳波による解明（科研費・研究分担者）
- ・「パラレルな場（並行集団）」での作業量をもたらす効果の脳科学的機序の解明（科研費・研究分担者）
- ・統合失調症に対する認知リハビリテーションが脳の神経活動に与える効果の解明（科研費・研究代表者）
- ・統合失調症に対する認知リハビリテーションによる脳内ネットワーク変化の解析（科研費・研究分担者）
- ・ウガンダ農村社会で生活するてんかん患者とその家族のための包括的ケアのモデル構築（科研費・研究協力者）

上記のほかに、北海道の児童に対する調査研究、全国の大学生を対象にしたアルコール依存リスクに関する調査、地域在住高齢者を対象とした認知機能面からヘルスプロモーションを検討する調査に参加してきました。近年は精神科リハビリテーション（認知機能）や脳波（EEG）を用いた作業療法研究を中心に活動しています。

2. 主な共同研究先

北海道大学、名古屋大学、札幌医科大学、広島大学、長崎大学、信州大学、大阪河崎リハビリテーション大学、大阪保健医療大学、金沢星稜大学、石川県立看護大学

3. 今まで指導した学位論文名

〈修士論文〉

- ・音楽聴取がうつ病患者の気分・覚醒と空間推論に与える影響（他大学）

4. 主な論文

- ・ Junya Orui, Keigo Shiraiwa, Fumie Tazaki, Takao Inoue, Masaya Ueda, Keita Ueno, Yasuo Naito, Ryouhei Ishii. Social buffering effects during craft activities in parallel group session revealed by EEG analysis and parasympathetic activity. *Neuropsychobiology* 2023;82(5):287-299.
- ・ Miyajima Maki, Miyata Tomoki, Murakami Yui, Yotsumoto Kayano, Ukita Atsuki, MorimotoTakafumi, Kobayashi Masayoshi, Tanaka Hirofumi, Yamada Sumie, Matsusaki Yuri, Inoue Takao (Corresponding author) . Risk level-specific hazardous drinking factors of alcohol use disorders in Japanese university students. *Journal of Substance Use* October 2022.
- ・ Ryota Imai, Masakazu Imaoka, Hidetoshi Nakao, Mitsumasa Hida, Fumie Tazaki, Takao Inoue, Junya Orui, Misa Nakamura. Association between chronic pain with presarcopenia and central sensitization in Japanese community-dwelling older adults: A cross-sectional study. *Medicine (Baltimore)*. 2022 Aug 12;101(32) .
- ・ Yuri Sakai, Chong Chen, Atsuhito Toyomaki, Naoki Hashimoto, Kan Kitagawa, Takao Inoue, Asumi Sato, Keisuke Makiyama, Rie Kameyama, Yumi Wakatsuki, Niki Udo, Ryosuke Shirakawa, Takashi Yokota, Shin Nakagawa, and Ichiro Kusumi. A Brief, Individualized Exercise Program at Intensities Below the Ventilatory Threshold Exerts Therapeutic Effects for Depression: A Pilot Study. *Front. Behav. Neurosci.*, 22 November 2021.
- ・ Shan Yun, Risa Takashima, Kazuki Yoshida, Daisuke Sawamura, Takao Inoue, Shinya Sakai. Differences of expected intervention effects between participant-led and facilitator-led preventive care services in Japan. *Hong Kong Journal of Occupational Therapy*, 2021.
- ・ Risa Takashima, Takao Inoue (Corresponding author), Yuko Yoshida. Effects of color narrative in community-dwelling older adults: A mixed methods study. *Scandinavian Journal of Occupational Therapy* Dec 5;1-13, 2020.

5. 現在の指導している大学院生数

なし

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか？

精神領域のリハビリテーションやヘルスプロモーションに関して興味がある方に対して、研究計画の立案や実施、解析、そして発表や執筆迄をサポートします。

学内外の教員や院生と意見交換や交流できるにも一緒に参加し、共に知見を深めたいと考えています。

また、在学期間中はデータ収集や解析、論文執筆に根気強く意欲的に取り組むことができる方を募集しています。事前にご相談ください。